

地域住民として外国人をみる
1日15~16人の診療する。
3人1人が外国人

侵入者の新しい部屋 → 入院にも守らなければならない大切なこと → 部屋は用意がよい

宗教を否定けい = 人を否定することと同じ

出身国の薬の使用 → 海外の薬がない!、保険診療 - 1日の薬の量が決められているが、外国では
それ以上の量を飲んでいることもあるから希望しても対応できない

イスラム教では火葬はご法度 → 信仰上の理由から土葬 → 悪くなる前に母国へ帰る

亡くなった途端、故人の口の中にコインをいれ込む → 上座部仏教の習慣

携帯電話の番号は、毎月はじめの受診時にきく → 変わっていることが多い

出産間近まで受診しない → 妊娠は病気じゃない → 経過のわからない出産は怖い → 定期的に
通院すること、情報を拡散させる

サロパス、味の素 → 冷湿布 = サロパスと言う、東南アジア産

ほんの少しのS-GPTの上昇 → 日本ではB型肝炎、C型肝炎、A型肝炎はあまり気にしていない

食事指導の落とし穴 → 魚や野菜を食べる方に指導だけでは× → 天ぷらなど油で料理している
何をどの工程にして食べるかまで指導しないと×

「ついでに聞きたい」が多い → 本人の治療以外の話が多い

国籍を尋ねることもトラブルになりかねない → 差別? → なぜなのか理由を説明する

付き添いの兄、姉、弟、妹は本当の家族か → 親しい年上の女性でも姉と呼ぶ → 具体的に尋ねる

小松国際クリニック

1990年1月16日開設

医師2名 { 英語、タイ語、
スペイン語、韓国語

フィリピンの人が多い

外国人医療を学ぶ

→ 適切な知識を習得しておかないと、無用なトラブルに
巻き込まれる

危機管理のための重要な対策となる

差別してはならない。

↑
内外平等原則

中長期滞在している人には差別しない。

↓
外国人であるという理由で加入適用されない
制度はない。

・ 住民基本台帳

・ 医療滞在ビザの創設

・ 外国人登録法の廃止

外国人の方には、
きいてほしい。聞いてほしい。

文化を学ぶことが、その人を尊重することにつながると知りました。
自分の価値感をおしつけないように配慮していきなす。

医療者